

資産運用レポート：長期的な投資チャンス

1 はじめに

投資の名著『ファンド・マネジャー』（『マネーマスターズ列伝』として再版）に掲載されている、一番好きな言葉を引用します。

市場全体の相場水準が高いと思ったら、手を出さずに休むこと。2、3年たてばほぼ間違いなく、次の弱気相場がやってくる

私自身も、アベノミクスにより上昇した日本株を「割高である」と判断し、官製相場の持続性についても「怪しい」と見ています。

それゆえ、日本株個別銘柄はあくまで打診買いにとどめて、様子見を決め込んできました。

ずいぶんと待たされたものの、株式市場はお盆明けから急落して、ターニングポイントを迎えつつあります。例年、株が下げることも多い9月、10月の動向次第では、アベノミクスの宴も「お開き」かもしれません。

バリュー投資家としては、もちろん、次の弱気相場で買い出動する予定です。そのために投資資金の大半を待機させています。

問題は「いつ買うか」です。巷では「不況を買い」ともいわれていますが、具体的な投資タイミングまで言及されていることはほとんどありません。

今回の資産運用レポートでは、長期的な投資チャンスについて、検討してみました。

★日経平均 株価チャート（月足）



ロングチャートからは、天井を打ったようにも受け取れますが、いかがでしょうか。